

経営比較分析表（平成28年度決算）

福岡県福岡市 大橋駐車場

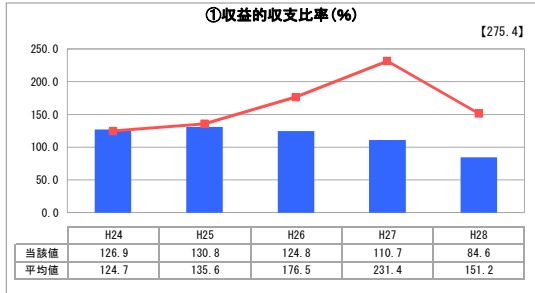
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	30	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	2,935
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
120	150	代行制

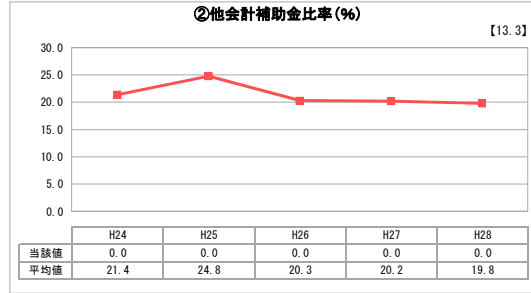
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

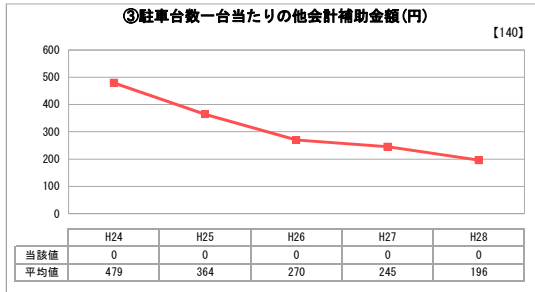
1. 収益等の状況



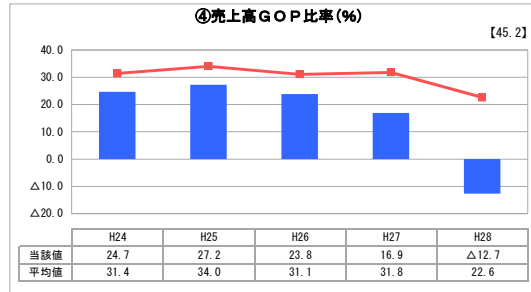
「経常損益」



「他会計補助金割合」

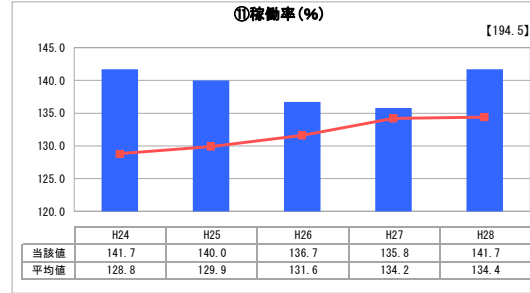


「他会計補助金額」

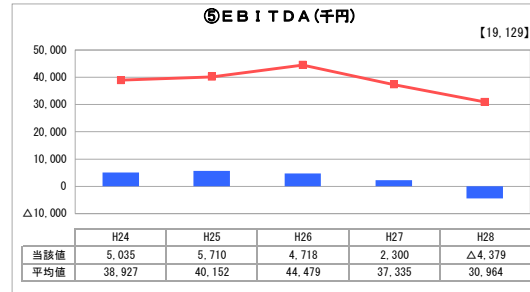


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

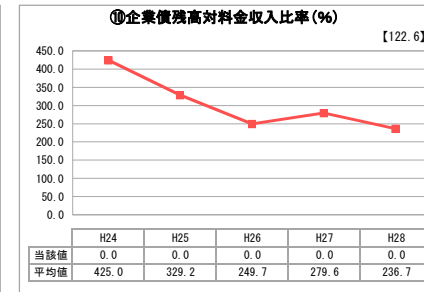
307

⑧設備投資見込額(千円)

19,589



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
「収益的収支比率」は、年々減少傾向であるが、収益自体は横ばい状況である。老朽化に伴う施設の補修費用が増加していることが要因となっている。

2. 資産等の状況について
今後10年間の設備投資見込み額に関しては、改めて改修計画を策定することとしている。

3. 利用の状況について
「稼働率」は、類似施設の平均値を上回っており、今後も施設の利用促進を図っていく。

全体総括

市営駐車場については、施設のあり方を検討していくこととしている。検討における課題としては、各々の市営駐車場の設置目的、利用状況、周辺民間駐車場の整備状況、市営駐車場としての資産や今後の維持改修費用などについて整理したうえで検討していく必要がある。